

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 121 号 2008.5.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。



平成 10 年 5 月 飯塚農園

新潟県小国町 飯塚伸子

10年、色々な問題に直面しました。6年前に主人を亡くしたことが大きかった。収量も上がってきて、これからというときでしたから。小国町で稲作を始めたのは昭和 61 年、自然農法が世に出る夢をもって取り組んできました。主人は常に田んぼに入っているような人でしたので、収量、能力(体力)的にも主人には及ばないと痛感しています。皆様が見学に来て、雑草を取ってくださったり、体調が悪くても自然米は食べられた、自然の味噌で元気が出た、などのお話がとても力になっています。体の続く限り自然農法を実践していきたいです。

小国町は自然に囲まれ、山の水を使う良い環境です。後継者が育つことを願っています。今年は今月 12 日に田植えが済んで、問題もあったのですが、日々、生長を祈っています。

また、今は食の問題が騒がれていて、自然の作物のニーズが高まってきたように感じますが、若い方々がもっと気をつけて、子供たちに良いものを食べさせていくことが大切かなと感じます。



生産者は語る - この 10 年、そして未来へ -

おかげさまで、ホットニュースは 祝 発行 10 年を迎えました！今回、それを記念して、ホットニュースの初期からたびたび登場し、TOREK 自然農法をリードし続けてこられた実施者の飯塚さん、山本さん、堀さんに、この 10 年間のプロセスと自然農法への思いを熱く語っていただきました！

千葉県長生郡 山本由希彦

10 年前とくらべ、おかげさまで一般に自然卵が浸透してきています。春に多く卵を生み出すのですが、当時はあちこち走り回って卸していて、それでも余った卵は身内のパン屋で使ってもらっていました。養鶏を始めたころ(平成 2 年)はもっときびしく、路上で販売していたこともあった。いつも理想と現実をつきつけられていました。いっしょにやっていた妻は、子供が小さかったこともあって、色々な意味で大変だったと思う。しかし、ここ 3 年くらいですか、だいぶ状況が良くなってきたような気がします。

ホットニュースの広報活動にも感謝しています。

最近、消費者に、一般よりも値段の高い作物を買ってもいいという「覚悟」が育ってきたような気がします。また、生産者にとって、卵や自然の作物を食べて体調が良くなった、アレルギーでも食べることができた、などの体験談が何よりの励みでもありました。自然栽培の飼料も大量に入手できるようになってきましたし、皆様のご協力による餌も大変有り難いです。鳥インフルエンザの時代に、この養鶏が試されるような気がします。



長野県木島平 堀 政則

自然農法の原理を実証したいと思って 10 年、その都度、新たな目標ができて、苦しいこともあったけど、前向きにやってきました。

今、時代の最前線にいて、先人から受け継いだ真の自然農法を次につなぐ責任を強く感じています。中山間地でも自然農法で収量を上げられることを実証したいです。

昭和 26、27 年の先輩方は 13、14 俵の結果を残しています。そこからすると、収量



平成 20 年 1 月 12 日 体験学習



平成 19 年 9 月 17 日 圃場見学会

が頭打ちになるのは、何かが欠けているはずだと思う。それが今、少しずつ見えてきています。あとは実証あるのみです！

木島平で無施肥を実施する人は 15 人くらいになりました。食の危機や、有機 JAS 規格の偽装、無肥料栽培が認知されてきていることなどで、生産現場も変わってきています。それと、今年は肥料代がはね上がり、色々な面から、既存農法も変わらざるを得なくなってきているようです。

ホットニュース発行 10 年をむかえて 3

関谷: 今年の勉強会では、次のステージである作物を作っていくことに比重が置かれるのではないかと思います。岡田茂吉師のテキストで何をを使うかを考えて。消費者も作物の作り方を学ぶことになるでしょう。

TOREK 自然農法としては、勉強会も農産展も体験学習も、皆が立ち上がるという方向にしていきたいと思えます。もちろんホットニュースも、ここで今変わり損ねたら.....今年からはやっていく年ですね。

スタッフ: でも、今まででも相当な奇跡的な出来事は起きてましたよね。

関谷: そう、今までだって個人個人、真剣にやっていたわけです。それはまぎれもない事実です。それを土台にして今後、より危機感を持って、より発展したところに向かう必要があるということです。

スタッフ: 今年から転換していくとして、来年再来年にすぐ結果が出るということではない...

関谷: そう... ですね、まずは身近な私たち係からですね。でも早いと思うのは、今年から田んぼをやるという人が出てきていることですね。このように取り組んでいって、10 年後振り返ったとき、色々なことがあったけど、そのお陰で、自然農法が発展したんだと言えるようにしなきゃいけないと思います！

記事全内容が <http://torek.jp> に掲載されていますので、御参照ください



5 月 21 日 勉強会風景

ほうじ茶が力をくれた！

船橋市 内藤ひろ子



4月21日のお昼過ぎ、急に気分が悪くなりました。食欲はなくなり、食べ物をまったく口にすることができません。それでも自然農法のほうじ茶だけは飲むことができました。その夜は熱が出て、汗をびしょりかきました。

翌日、外せない用事があって、何とか出かけることができましたが、頂いたお弁当を食べることができず、ほうじ茶しかのどを通りませんでした。その夜も家族の行事があったのですが、ほうじ茶しか飲んでいないのに、なぜか動くことができました。

結局3、4日の間、食欲がなく、ほとんど食べてなかったのですが、ほうじ茶だけはおいしく頂けて、乗り切ることができました。不思議だなと思うとともに、自然の恵み、生産者の方に心から感謝しました。

お知らせ



自然農法勉強会 6月17日(火) 昼の部 10:30 ~ 夜の部 19:00 ~ (別院講堂)
自然農法頒布会 6月13日(金) 東中野会場 (10:00 ~ 15:00)
6月18日(水) 鎌ヶ谷会場 (11:00 ~ 15:00)
7月16日(水) 鎌ヶ谷会場 2周年記念!

無施肥無農薬栽培物の販売予定

6月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

きじま平自然農産: 納豆、小麦粉、青豆、豆菓子、きのこめし

市川生産グループ: 新茶 (100g 1,800 円)

みかんジュース (1リットル 1,200 円・コップ 150 円)

長柄山自然農園 : 卵 中島農園: フキ、さやえんどう

富田善嗣さん : 白米 (2.8kg 4,000 円 他)

よしたい農園 : 白米 (1.2kg 1,000 円、2.5kg 2,000 円)

ジョリフィーユ : プリン、マドレーヌ、みかんジュースゼリー、チーズケーキ (スフレタイプ)



お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>